



第十八百七十五號

THE HIKKWA SHIMPO

大正二十年十二月五日

日新報

中貿易機關

明治三十五年五月十六日第三種郵便物認可

煥發於作興民風

之大詔

政府憂現下國民風氣之頹廢今日鑑于我國情認於一新國民氣風之緊要山本首相本月十日午前十一時半參內奏請詔書降下卽日有裁可如左煥發大詔政府更十一日以山本首相之名發表告諭云茲謹譯詔書如左

詔書

朕惟國家興隆之本在國民精神之剛健涵養之振作之以不可不固國本以是先帝留意教育基國體邇淵源揭皇祖皇宗之遺訓昭示其大綱後又詔臣民勸忠實勤儉申信義之訓垂荒怠之誠是皆莫非所以尊重道德涵養振作國民精神之皇謨爾來趨向一定效果大著以致國家之興隆朕即位以來夙夜兢々常思紹述俄遭災變憂悚交至矣輓近學術益開人智日進雖然浮華放縱之習漸萌輕佻詭激之風亦生及今不革時弊或恐失墜前緒况今次之災禍甚大文化之紹復國力之振興皆待國民之精神乎是實上下協戮振作更張之時也振作更張之道無他在于恪遵先帝之聖訓舉其實効耳宜崇教育之淵源努智德之並進肅正綱紀博勵風俗斥浮華放縱趨質實剛健矯輕佻激而歸醇厚中正明人倫致親和守公德匡扶秩序重責任尙節制揚忠孝義勇之美篤產愛共存之誼入而恭儉勤敏服業治國出而不偏一己之利害竭力公益世務可以圖保國家之興隆與民族之安榮社會之福祉朕冀臣民之協翼彌々固國本以恢弘大業

爾臣民其勉焉

御名御璽

攝政名

大正十二年十一月十日

內閣總理大臣各國務大臣副署

◆迎民國前大總統黎元洪氏之來遊

支那民國前大總統黎元洪氏退位以來

居天津或上海等數月事與志違遂無再起

之機曹混氏一躍就任大總統直發布憲法

威風堂々爲民國元首君臨四百餘州諸外

國亦皆承認曹混氏之爲大總統吾人忖度

黎氏之心中必有不堪不滿者頃日黎氏爲

靜養我別府溫泉以實業家宗秉慶之假名

本月十日搭乘長崎入港東洋汽船哥列阿

九來朝一行爲黎氏及第二夫人並秘書劉

鐘秀等十名黎氏引見往訪記者語曰今次

愈斷念政治的關係一時去支那以治療三

十年來之痼疾糖尿病爲目的聞別府溫泉

爲斯病最有特効云故淹留別府期間至少

不下二個月或至半歲之長亦未可知云云

吾人切望黎氏黎氏所謂功成名遂者將來

斷念政界之繁冗專向商務關係致力殊對

日支之經濟提携等盡一臂之勞不堪盼望

之至也

●王正廷氏之來朝

支那外交界有數之手腕家王正廷氏頃日受中國政府之命來朝云王氏曹大總統及吳佩孚氏等之信任最厚云今據北京來報

每年支出額約九千七八百萬圓云

而其年度割額由大正十三年度爲六個年繼續事業各年度豫算額大要如下云

大正十二年度

同十三年度

十四年度

十五年度

市負擔額

四億六千萬圓
國庫負擔額

二億四千萬圓
東京橫濱兩

復興院當局由大正十三年度爲六ヶ年繼續維持保安之責本月十六日著陸軍大將山梨半造親補該司令官又著步兵大佐秦真次任警備參謀長

●帝都復興豫算之概算

事業對大藏省要求總額七億五千萬圓種々折衝之結果大約如左決定云

一總額七億圓 (此內容如下)

四億六千萬圓

國庫負擔額

二億四千萬圓

東京橫濱兩

王正廷氏來朝之使命在於俄支交涉之促進及震災當時殺戮支那人事件之調查等云雖其使命不知事實與否今歡迎王氏圖可齊好結果信而不疑也我朝野人士宜歡迎王氏之來朝俾王氏諒解我國情及國論之趨向通王氏使反映支那之上下即於招徠日支之親和與融合蓋爲最善之途也

湖南云又據別報省城聯合軍兵士漸次離散雲南軍官捨職去香港者多孫文氏慮萬一之變搭乘軍艦永豐陳炯維

▲世界紅卍字會中華總會代表祭文

偶在關東中華民國人罹此災空懷古未聞之慘事長嘆所不能措也今當

臨時議會與通常議會

▲協議題

政府為經復興費其他緊急命令事後承諾等之協賛由十一月十五日十日

間經勅裁召集臨時議會又為經大正十三年度預算案其他協賛以十二月

二十五日召集帝國議會于東京

東宮殿下與良子女王殿下之御慶事

國民一般鶴首期待其速一日聞於宮

內省目下專關御日期證議決定來月

中明春一月被為行告期之儀由牧野

宮相公告一般而關御婚儀最主要之

儀式為賢所大前之儀其他之儀式極

旨質素饗宴等比前例其範圍稍可加

制限云

宮中御慶事日期

東宮殿下與良子女王殿下之御慶事

國民一般鶴首期待其速一日聞於宮

內省目下專關御日期證議決定來月

中明春一月被為行告期之儀由牧野

宮相公告一般而關御婚儀最主要之

儀式為賢所大前之儀其他之儀式極

旨質素饗宴等比前例其範圍稍可加

在滿洲領事會議

朝鮮總督府主催在滿洲領事會議由

本月二十日三日間開會京城左記各

領事出席關滿鮮關係各種問題交換

意見云協議事項如下

●王正廷氏之渡日發表

支那政府以籌辦俄支交涉事宜王正

廷前間島高等法院長沈其昌議員劉

彥三氏任命留日華人誤殺調查員二

十一日發表派東而王氏之渡日雖係

上記名目此不過表面之理由其本來

之使命關對俄通商問題在得我當局

之諒解云

支那大地震

依山西省可嵐縣通信本月十三日午

後三時半該地有大地震城內及城外

二十餘村被害頗甚家屋殆倒塌壓死

及負傷者達一千五百餘名云可嵐縣

距山西省城太原府北國約七哩十步

外交總長顧維鈞氏二十一日對誤殺

支那之要求提出

新任直魯豫巡閱使

駐日公使汪榮寶氏任命以來經數月

不肯赴任這次政府督促該公使赴任

赴任云

新任直魯豫巡閱使

新任直隸山東河南巡閱使吳佩孚氏

以電報辭任曹大總統切慰諭之懇請

就任為之二十二日於洛陽決定就任

尚吳氏待四川湖南之平安移駐保定

支那之要求提出

交付鹽稅剩餘金

法國滙理銀行以抵押中之鹽稅剩餘金一百二十萬元本月二十日交付支

那政府云

國立學校之閉鎖

為經費支出不能除北京大學國立七

校愈本月十七日閉鎖尙北京大學誥

教授會議決其去就云

人各種團體指導問題▲朝鮮對各領事及關東廳等取扱事務通鑑▲滿蒙開發施設▲其他全般的諸問題

▲鮮人教育問題▲鮮人金融問題▲鮮人產業問題▲不逞鮮人問題▲

人各種團體指導問題▲朝鮮對各領事及關東廳等取扱事務通鑑▲滿蒙開發施設▲其他全般的諸問題

▲鮮人教育問題▲鮮人金融問題▲鮮人產業問題▲不逞鮮人問題▲

施駐日公使對北京政府電請云接東京大學於今次之震災令歸烏有關東洋文化圖書七十萬冊支那原來以富書籍乞政府及國民之援助云云之通

知為東洋文化之保持及增進日支兩國親善請與援助云云

匪天不仁生靈是屠斯世溷濁乖戾孔張禍機潛伏鬱為陰霾我生不辰丁茲尼運哀矣華胄九泉飲恨吾儕東渡救護後時撫今追昔不禁淒其願祝幽魂往生樂土臨風憑弔靈其格否

吳天不弔降此災浸山崩地折火熱水深嗟我同胞城門殃及京濱之間死傷枕藉骨肉離析財產蕩然電光泡影滄海桑田是日浩劫匪民之辜

匪天不仁生靈是屠斯世溷濁乖戾孔張禍機潛伏鬱為陰霾我生不辰丁茲尼運哀矣華胄九泉飲恨吾儕東渡救護後時撫今追昔不禁淒其願祝幽魂往生樂土臨風憑弔靈其格否

吳天不弔降此災浸山崩地折火熱水深嗟我同胞城門殃及京濱之間死傷枕藉骨肉離析財產蕩然電光泡影滄海桑田是日浩劫匪民之辜

匪天不仁生靈是屠斯世溷濁乖戾孔張禍機潛伏鬱為陰霾我生不辰丁茲尼運哀矣華胄九泉飲恨吾儕東渡救護後時撫今追昔不禁淒其願祝幽魂往生樂土臨風憑弔靈其格否

陳軍迫廣東

十五日夜孫文氏再開軍事大會議決定於集聯合軍全部于廣東市附近試

一戰展開局面若戰不利經北江韶州

施駐日公使對北京政府電請云接東京大學於今次之震災令歸烏有關東洋文化圖書七十萬冊支那原來以富書籍乞政府及國民之援助云云之通

知為東洋文化之保持及增進日支兩國親善請與援助云云

匪天不仁生靈是屠斯世溷濁乖戾孔張禍機潛伏鬱為陰霾我生不辰丁茲尼運哀矣華胄九泉飲恨吾儕東渡救護後時撫今追昔不禁淒其願祝幽魂往生樂土臨風憑弔靈其格否

匪天不仁生靈是屠斯世溷濁乖戾孔張禍機潛伏鬱為陰霾我生不辰丁茲尼運哀矣華胄九泉飲恨吾儕東渡救護後時撫今追昔不禁淒其願祝幽魂往生樂土臨風憑弔靈其格否

匪天不仁生靈是屠斯世溷濁乖戾孔張禍機潛伏鬱為陰霾我生不辰丁茲尼運哀矣華胄九泉飲恨吾儕東渡救護後時撫今追昔不禁淒其願祝幽魂往生樂土臨風憑弔靈其格否

匪天不仁生靈是屠斯世溷濁乖戾孔張禍機潛伏鬱為陰霾我生不辰丁茲尼運哀矣華胄九泉飲恨吾儕東渡救護後時撫今追昔不禁淒其願祝幽魂往生樂土臨風憑弔靈其格否

我大阪市之實業各團體相譖本日茲營莊嚴之追悼祭以爲遭難民國人士薦冥資慰靈位可謂最適切之盛舉也。惟遭難諸土孰遠來我國或從事通商或委員研學者一朝殉不測之災厄至空其志業恨愁綿々真可無盡之期雖然今次際事變諸士之母國被寄與深甚之同情與迅速之救援我國民所感謝不已蓋日支國交爲之加一層之親密東亞平和賴可長是所不容疑諸士之英靈亦以可瞑也列本日之盛典茲恭布誠精謹表敬悼之意。

▲大阪商業會議所會頭稻畠勝太郎氏弔詞

客月一日我國關東地方有激震次起大火災火燄不滅實及三晝夜爲之斃災禍內外人不知幾萬悲愴絕古今痛恨無極矣。惟死生雖元有命而齋遠大之希望與抱負遠來海外千里之異域營々自己之職務中華民國人諸氏罹這次之災厄不幸化異境之土者誠不堪嘆惜也茲列諸氏之追悼會代表大阪商業會議所恭弔尚諸氏之英靈來享焉。

▲大阪貿易同盟會長二川仁三郎弔詞

大正十有二年九月一日俄然以日本帝都爲中心勃發之京濱地方一帶之大震火災實爲前古未有之一大慘事燒死其他犧牲者約十餘萬負傷者殆無算數十萬之財力一朝歸烏有。害之狀形到底筆舌非可言明形容際此大震大火災在留本邦華僑諸君中遭遇此災厄空抱壯圖吞恨化異鄉之土者亦不尠對此等中華民國人各位之英靈實不堪痛恨之情而又得不嘆大大阪貿易同盟會同情悲痛之組織之大阪貿易同盟會同情悲痛之餘得大阪神戶兩商業會議所及神戶日支實業協會之贊助茲卜本日設式典以祀中華民國各遭難位之英靈幸

當其舉式辱蒙中華民國領事並民國縉紳各位大阪府兵庫縣兩知事大阪神戶兩市長各新聞社代表阪神知名之縉紳實業家等各位之參列本會之光榮莫過之遭難殆災者之幽魂亦以足限乎余受乏會長之任謹對參列各位欲表謝懼噫乎中華民國遭難各位

水陸到處白骨堆繁華一朝化焦土死神戶兩市長各新聞社代表阪神知名者十萬滿巷坊嗟乎慘矣。中華民人來淹留者數千亦罹禍散逸滅死于異鄉枕骸偏巷枯骨無由尋洵

傷心慘目之極秋風落漢天日爲昏矣

焦石山ノ如ク堆々十萬ノ精靈歸斯ルニ所ナシ偶々關東ニ在留セル中

華民國ノ人ニシテ此災ニ罹不慮ノ死ヲ遂ケタルモノ亦

訟ナカラス真ニ是レ前古未聞ノ慘事ニシテ長嗟措ク能ハサル所ナリ

今ヤ東方亞細亞ハ内外多事ニシテ中日提携ノ要愈急ナ

ル秋ニ當リ夙ニ本邦ニ來リ商工業ニ從事シ或ハ各種學校ニ入りテ螢雪ノ勞ヲ積ミ

或ハ我カ労働者ト伍シテ艱

難ヲ共ニシ最モ能ク上下ノ事情ニ通シ兩國ノ楔子タル

ヘキ有力ナル多數ノ善隣國人ヲ失フ痛惜何ソ堪ヘン茲ニ本日ヲトシ大阪貿易同盟

會主催トナリ神戸中華會館ニ於テ震災死亡者追悼法會ヲ施行セラル本官亦之ヲ聞

キ衆戚蔽遮スルニ所ナク聊カ微憫ヲ披瀝シテ以テ無限ノ痛恨ヲ叙フ嗚呼變災ハ天ノ作ス所誰レカ其極ヲ知ラ

ン唯國家ノ瘡痍甚大ナリ我

トス諸子在天ノ靈冀クハ之

ヲ照鑒シ兩國親善ノ爲メ冥々ノ裡ニ加護セラレンコトヲ虔ミテ哀悼ノ微誠ヲ述フ幽魂髮鬚トシテ來リ

速カニ之レカ復興ニ努メン

カ同胞將サニ心力ヲ盡シテ

ヒ謀リ其依ルナキノ精魂ヲ弔ヒ些

カ隣壤互哀ノ誼ヲ表ス本所亦其議ニ贊シ壇ニ面シテ當時ヲ憶想スレハ歎歎嘆息語ノ出ツル所ヲ知ラス

只タ晏天ハ沈々トシテ金風漸々タリ幽魂髮鬚トシテ尚クハ來リ享ケ

日ノ親善ヲ說クモノ茲ニ同志ト胥

ヒ謀リ其依ルナキノ精魂ヲ弔ヒ些

カ隣壤互哀ノ誼ヲ表ス本所亦其

營々タル中華民國人諸氏ノ此ノ災厄ニ罹リ不幸異郷ノ土ト化セラレタルハ一層嘆惜ニ堪ヘサルナリ今ノ英靈來リ享ケヨ

所ヲ代表シ恭シク弔ス尙クハ諸々

都を中心として勃發したる京濱地

方一帯の震火災は實に前古未有

の大正十有二年九月一日俄然日本帝

都を中心として勃發したる京濱地

支那綿糸ノ日本輸出旺盛

大阪市役所 貿易調査報告

上海商標登録分局へ登録出願ノ商標印版呈出方

十一月廿五日以後ハ北京登録局へ

最近支那綿糸ノ日本輸出商内ガ十一月及十二月積ニテ多數出來タ

本週内ニ十六手及二十手合計三千俵ノ積出アル見込、九月後ノ約定

出来高ハ五千俵ニ達スル。日本内地高故今後モ引續キ輸出商内出來

但シ神戸沖着倉段、綿布粗布十三封度印度ヘ三千箱商内出來、今後

尙買氣アリ。氣配良好。

護謨及ペイント原料ノ發見

上海仁昌店主珊瑚詩氏ハ山東博山ニ於テ紅丹(光明丹)ニ似テ色稍

ム黒キ鐵丹ト名ヅクル護謨及「ペイント」原料ヲ發見シ當地振華ベ

イント會社ヲ以テ其ノ發賣所トシタ。從來南洋產護謨ニハ此ノ博山

產原料ニ等シキモノヲ多ク使用セルモノデアルト。

上海輸入ノ日本綿布ハ無検査

「インボイス」ト「シッピングサンブル」アルモノニ限リ

從來上海ニ輸入サル、綿布ニ對シテハ稅關ニ於テ現物検査ヲ行ツ

テ居タガ、今回同地駐在商務官ノ努力ト稅關ノ好意ニヨリ日本綿布

ニ對シテハ其「インボイス」ト「シッピングサンブル」アルモノニ限

リ無検査ノ簡易取扱ヲナスコト、ナツタ。

長江運賃ノ改訂

當地ノ楊子江沿岸各港向ケ綿糸布運賃ハ日清汽船ヲ除ク其他ノ外

支汽船會社ノ協議ニヨリ減水ヲ理由トシテ左ノ如ク變更サレタ

曉々對華貿易業者によりて組織す

る大阪貿易同盟會は同情悲痛の餘

災地に在住せるか爲めに等しく異

國の天災に殉し鵬志空しく恨を呑

んて異郷の土と化せる中華民國人

跡到底筆舌の宜く叙し得へき所に

非る也

此秋に際し此災害時に臨み本邦震

災地に在住せるか爲めに等しく異

國の天災に殉し鵬志空しく恨を呑

んて異郷の土と化せる中華民國人

各位の遺靈に對しては悼みても猶

は餘りなき能はす誰れか又一掬自

然の無情を嘆せざるものあらんや

曉々對華貿易業者によりて組織す

る大阪神戸兩商業會議所及び神戸

日支實業協會の贊加を得て茲に本

日典を設けて其遺靈を祀る

幸に其舉式に當り中華民國領事閣下在日中華民國総領事始め大阪府兵庫縣兩知事閣下大阪神戸兩市長閣下各新聞社代表各位其他阪神知名の紳士茲に實業家各位の參拜を仰き得たり殉災死者各位又以て幽魂永久に瞑するに足るものあるが主催者として本會は素より表する所なり

其靈大れ心あらは來りて本會の表ある追悼の微衷を饗けよ

上海工部局ノ石炭入札

上海石炭相場ノ「パロメータ」タル工部局發電所ノ來年度石炭購入契約ハ去ル二十日開札サレ左ノ如ク決定シタ

開平炭三池、撫順、鴻溝混合炭十二萬噸

三十五萬噸

九萬九千五百

入レ込ミ

温州及寧波方面ノ日貨排斥

長江流域ノ排日風潮ハ大體ニ於テ鎮靜ニ歸タルニ拘ハラズ、只

リ峻厳トナルニ及ビ、漸次緩和ニ

昌知事更迭サレ新知事ハ外交後援員八名ヲ逮捕シ一排日新聞ヲ閉鎖シタルト稱セラレ居ル這ハ

地方官憲ノ排日取締ニ對スル意圖ヲ示スモノト見ルベク排日ノ峻烈ナル土地柄ダケニ稍々注意ニ值ス

ノ如キハ相當漢口筋ニヨリ買漁ラレテ居ル。然ルニ頃來温州ニ於テ排日氣勢再發ヲ見、同地學生團ニヨリ日本綿布ノ沒收サレタル事實ガアル。

其他寧波ニテモ學生及排日團ニヨリ排日ガ高唱セラレツ、アル模様アル。之等排日ハ這次ノ關東震災ノ折日本官民ガ京濱ニ於テ在留支那人ヲ虐殺セリトノ謠言ヲ利用シテ、所謂排日屋連ガ再び排日ヲ煽揚セル結果ニシテ何等深キ根底ニ至リシハ前報ノ通ナルガ既ニ同分局ニ出願セル商標ノ印版ハ特ニ十一月廿五日迄ハ同分局ニテ受理セラル、モ其以後ハ直接北京商標登録局ニ送附スルヲ要スル旨上海同分局ヨリ公告シタ。

猶當地商標登録局ニテ出願セラレタル日本商標ハ東洋縫寸、大康紡績(大日本紡績)大日本麥酒、阿部市洋行、益記洋行、日華洋行、灘定洋行、硫化洋行、瑞寶洋行、大阪竹村商店

其他商標約三百餘ニシテ日本以外ノ外國商標ニアリテハ獨逸ノ藥品及染料約二〇〇、米國ノ卷煙草約六〇商標ナリト。

上海商標登録分局(駐滬商標登録局辦事處)ガ去ル十一月三日限リ廢止セラレ其以後ノ登録出願ハ全部北京登録局ニテ受理セラル、

ニ至リシハ前報ノ通ナルガ既ニ同分局ニ出願セル商標ノ印版ハ特ニ

十一月廿五日迄ハ同分局ニテ受理セラル、モ其以後ハ直接北京商標

登録局ニ送附スルヲ要スル旨上海同分局ヨリ公告シタ。

上海商標登録分局(駐滬商標登録局辦事處)ガ去ル十一月三日限リ廢止セラレ其以後ノ登録出願ハ全部北京登録局ニテ受理セラル、

ニ至リシハ前報ノ通ナルガ既ニ同分局ニ出願セル商標ノ印版ハ特ニ

十一

(可認物便郵種三第) 日五十月二十年二十正大 (六)

外國商況

(著在倫敦松山商務官電報)

十月 中輸入九千九百九十九萬磅輸出七千三百三十萬再輸出一千百十九萬九月に比し各千六百萬七百萬三百萬の増加を示し漸次高調を辿る十四分の一バーセント方踏上株式界は總選舉氣構へにて沈靜對米債務の支拂國內政變紙幣增發の噂大陸筋磅投資の弗爲替等にて對米爲替暴落し對歐大陸諸國は賠償問題最近の行惱にて強含なり。

一月に入り資金の需要増に伴ひ金融界活氣あり中旬迄に手形割引率ボールド井ン總理は選舉演説にて保護政策の結果物資並貨銀の騰貴を暗示す產業界幾分回復の氣味ありしも政變にて一頓挫を示す總革舉來月上旬に決定せる爲小康を得たり。

棉花 米國の活氣と爲替關係にて暴騰一月物二十斤を超ゑ十月中の輸入千二百三十五萬封度にて九月の約三倍に相當す綿絲之に伴ひ強調内外の需要相當

綿布 埃及支那印度方面弗々買進市況一般に見直すマンチエスター地方米棉操業二十四時間を三十六時間に増加せり

羊毛 引續き強調メリノもの割高にて商談薄なるも雜種物賣行良好トップ毛絲織物は原毛高にて強含内地向地向需要優勢なるも輸出閑散

石炭 冬季家庭用炭の需要激増輸出も亦相當活氣あり市況強氣

銅 米國の需要増にて紐育市場強調なると爲替關係にて市價奔騰内地向需要幾分活氣あるも大陸筋の商談閑散電銅六十五磅

錫 世界に於ける需要增加に伴ひ米國筋の旺盛なるに多少思惑加はり一割近く暴騰現物二百十七磅なるも反動來の豫測なり

銑鐵 内外の需要漸増にて市況手堅く増產計畫中ヘマタイトは來年六月迄は賣切クリブランド三號百志

鋼鐵類 一般に強調板類建築材料殊に活氣あり鉄力は内地需要相當輸出引續き好况工場年内物賣切來春物成約鮮からず原料高に基準相場二十四志に引上先行強しグラックシート需要緩和商談一服工場は先物賣越し市況高含日本向十三枚百七封度物二十一磅五志以上亞鉛板 引合區々にて取引閑散なるも市價強調工場來春迄成約済に日本向六十七枚物二十八磅十志

硫安 内地需要不振なるも輸出盛況日本向商談相當九十兩月中日本への輸出量一萬三千噸市況幾分軟調チユーセイ(?)物つI·F十六磅十志見當

護謨 は大陸の需要杜絶せるも米國筋賣氣増しにて高價一志二片半唱へ當地在荷六萬噸

砂糖 大陸筋菜糖の輸入増見込にて在荷減少に努めしが佛國筋の買占にて輸入思はしからず瓜哇糖亦拂底し市價奔騰瓜哇白五十四志

支那の織機需要の將來

出に關し本日マンチエスターイーデアン紙商業附錄は大要左記
如き論評を加へたり

從來支那政局混沌として殆ど
政府の状態にあるや久し然るに
國對外貿易は逐年増加の趨勢を
し一九一三年には十億海關兩に
せざりしが一九二二年には實に
六億海關兩の多額に上れり右貿
易の原因を探究するは蓋し容
の業にあらざるべきも左の二事
は其主要なるものたるや必せり
●●●●●●●●●●●●
對外支拂に銀塊を使用すること
支那の國際債務の償却に同國の貨
貨を使用するときは財政行政共
紊亂の極に達せる現狀に於ては貨
幣相場の下落により輸入貿易を
難ならしむべしと雖支那人は對
取引に銀塊を以て支拂をなすが
國內の混亂が貿易上に及ぼす影響
は比較的少し尤も銀塊は漸次下落
して戰前の相場に復歸するの日
るべしことは一般の觀なるも從來
支障を來すに至らざるが如し
●●●●●●●●●●●●
支那人の歐米品に對する需要を
加ること 支那人の日常生活
標語は近年著しき變化を來し從
家政の要諦は生活費の節減にあ

支那に於ける歐米品の需要漸増の形勢、上述の如きものあるが之を以て英國綿製品及織物機械類に付き、又に支那綿工業近時長足の進歩を來し將來益々發展の兆あるを以て、支那に於ける下等綿製品に對して同國製品が克く之に應するの日遠からざるべしと雖着々増加しつゝある上等品の需要は英國品の供給に待たるべからざるべし蓋し支那綿工業は未だ幼稚にして其製品は到底英國品の敵にあらざるのみならず英國競争者たる日米兩國は英國が歐洲大戰に經濟的活動を中止するの己むを得ざりし時に當り支那に於ける貿易上の地歩の向上に努力せるに拘らず英國品の信用と良質は戦後再び支那に於て戦前の優秀なる地位を回復せしむるに至り分なりしに徵するも右二國の競争は敢て虞るゝに足らず而して支那に於ける輸入商人は内地の政情安定を得ざる限り從來通り比較的安定なる開港場に在荷を集中し此所の對支輸出は將來大なる發展を圖るに至れり

○萬留比より二二五百萬留比に減退せり再輸出に於ても前月より三三二百萬留比（其前年八月には三一三〇萬留比）ありたり
而して此等商品金銀をカウンシルビル、エンフニースド七比紙幣等と相殺勘定せば印度は當八月に於て結局三、〇二〇萬留比（前年八月は二、八二〇萬留比）を利潤せし譯なり前月は其額五、四三〇萬留比にして本年自四月至八月五箇月間に於ては其額合計二五、三七〇萬留比（其前年同期間には一二六百萬留比）に達す
輸入飲食料品中鹽一一〇萬留比飲食料品一五〇萬留比未製品三七〇萬留比尙製品も三、七九〇萬留比の夫々輸入減少に當る
未製品中にては昨年八月に比し石炭二五〇萬留比生絲一三〇萬留比の輸入減少を示す

未製品は三二百萬留比を減じて
七、八八〇萬留比となり内棉花は
二、一七〇萬留比の減退なるが日
本への積出減少せしに職由す同じ
種子物は六二〇萬留比を生黃麻
は二四〇萬留比を羊毛は二百萬留
比を夫々減せしもラツクは一四〇
萬留比を増せり

製品は六百萬留比の減退なるが
主として綿布の一〇〇萬留比を黃
麻製品の一九〇萬留比を減せしに
因る然るにガンニ一袋は前年八月
に比し三百萬枚より四千萬枚に
其價額一、七二〇萬留比より一、
八三〇萬留比に増加せりガンニ一
布は尺數に於ては一一七百萬碼よ
り一二六百萬碼に増加せしと雖價
額は三二〇萬留比の減少に當る本
布は例に依り北米合衆國最も多く買
入亞爾然丁英國加奈陀濠洲之に亞
各國分前當八月中英國は輸入
に於て前年八月同様五割八厘を支
持し輸出に於ては二割三分五厘よ
り三割四厘に進み當八月中輸入に
於ては獨逸五分一厘日本六分一厘
北米合衆國五分四厘を占め輸出に
於ては獨逸四分日本七分五厘北米
合衆對一割一分を占む

政府の關稅賦課意嚮に拘らす影響無し 絹織物 產地安の報嚮入
れ更に先安氣構にて買控へ市況極をて閑散 羽二重 現物六夕付百
三十志願め百志

職工 機關工爭議解決にて造船界細愁眉を開けるも海運界は未だ
窮地を脱せず

印度貿易概況

は工場の増設を阻害しつゝあるを以てなり

印度貿易概況

英領印度八月中の商品輸入は一
萬留比綿絲二三〇萬留比鐵道用品及車輛一九〇萬九比あり
輸出昨年八月に比すれば飲食料

日本商品幾分買氣付くも產地高に爲替不利にて商談困難 薑
七十五志 青豌豆 先物二十志九片 薄荷腦 先物四十一志油九志
六片 樟腦 三志三片 木蠟 八十二志 寒天 五志七片 大豆
一二傍由 三一九傍五志 薑桔頭

の混亂状態は内地工業の操業繼續に對する脅威にして工業家は安全なる開港場に工場を設立するの外綿は一五二百萬碼より七千萬碼に其價格は二八百萬留比より二、四一〇萬留比に輸入減じ色木綿は却

四、然らざる者には三百箇月間假居住券を下付するに依り其間に本國より旅券を取寄提示すべし然らざれば該期限後は露人と同様の居住券を下付せらるべし

罰金又は三箇月迄の強制労役に處すべし

五、右に反する者は三百留迄の本國又は三箇月迄の強制労役に處すべし

六、本令は發布の日より實施す

八月三日附の閣令及九月廿日付極東革命委員會の決定に依り極東露領に於ける通貨に關し十月二日極東革命委員會は左記委員を公定相場設定委員に任命したり

委員長 財務代表 バルイシニコフ

同代理 同代理 アボーリン

委員 コレスニコフ

ペルラツキイ (極東銀行理事長)

シャビロ (極東革命委員會委員)

グレウイチ (極東本部長)

プリシキン

ケスレル (對外商務代表代理)

右委員會の定めたる貨幣相場は「チエルボネツ」に對し金貨十

留大銀貨十一留十一哥小銀貨二十六留日本圓十一圓八十錢にして十

月五日開始以來變動なく唯紙幣は毎日下落し五一「チエルボネツ」に對し四千七百八十留なりしに十九日には六千二百十五留となり

一九二二年化粧品及香料の香港輸入額は約六一八千圓一九二一年

は約三〇二千圓一九二〇年は約五六万圓にして殆ど同地にて消費せ

る國別輸入額左の如し (單位米弗)

原產國 一九二〇年 一九二一年

米國 一四〇、九六二 一二二、五二七 一四一、四五

佛蘭西 四三、八四〇 三六、八七三 六六、六八八

英國 四一、五七三 六三、二九二 三五、五〇三

日本 日本 一一五 二六、〇四一 三〇、二二六

獨逸 六三三 三六、四七三 七、三九三

對支貿易促進の議

(リーフ)

九月廿六日發行モーニングボス

トに依れば毛織工業中心地の一たるリーフ商業會議所は昨二十五日

會議に於て支那の現狀に鑑み英國

輸出稅免除

(印 度)

支那を國際的に善導する目的で印度政府は十一月十七日附以て製紙材料に用ふる目的を以て輸出稅を免除す但し其用途の如何に就ては稅關收稅官の證明に依る旨

團の間に濃厚となり米國公使は之

に不贊成なるも參事ブル氏は支那の現狀を悲觀し國際管理により救濟する外方法なしと主張し英米駐

國は頭痛に病み運動して居る

那政府は頭痛に病み運動して居る

模様である右會議開催に就ては日本は反對である

廣東政府斷行に決す

列國は軍艦を急派す

廣東政府は愈關稅剩餘金差押へ

を斷行するに決し列國の意嚮を探つて居るが列國も又之れに備へる

爲急に廣東に軍艦を派遣しつゝあ

り四日馬公に歸還の筈であつた日

本驅逐艦も出港を見合せた

支那人が日本で初めて

王氏一行

七日當地通過

我國這回の大震火災の實情視察

のためと稱し三十日北京出發途中

奉天に三泊し四日午後十時同地發

朝鮮經由陸路來朝する支那使節王

正廷氏及び夫人を初め隨員沈其昌

劉產因文彬諸氏等は七日前七時

三十分當地通過東上せられたり

來通話數が漸次減少する傾向であつたが九月一日の大震以來近府縣に二十六日からは山口縣小月外同縣内二十一箇所に長距離電話の通話が夥しく増加し其上生絲輸出貿易のため益々市外通話は

增加し震災前一箇月約一万通話であつたものが九月十月は一萬三千

通話に激増し局員も繁忙を極めた

然るに十一月に入つては稍減少し

一萬二千通話になつたがこれは

永久的の通話數に固定し今後減少しないであらうと尙十二月は例

年二割は増加するので同課ではそ

の準備に忙殺されてゐる殊に神戶

港生絲輸出に伴ふ各生產地との通

話は曩に信州方面との直接通話を

開始し引續き各方面に擴張中であ

り名古屋市も神戸からは長距離區

神戸中央電話局市外課では今春

域から脱して長距離加入者でなく

共通話が出来るやうになつたが

に二十六日からは山口縣小月外同

縣内二十一箇所に長距離電話の通

話を取扱ふことになつたと

東京神戸間

の二回線、大阪東京間は十六回

線京都東京間は一回線孰れも復舊

し豫約通話を取扱ふと同時に東京

局で中繼をする通話區域も震災前

一部を除く外中止されてゐたが十二月一日から震災前通り神戸東京間は二回線、大阪東京間は十六回

線京都東京間は一回線孰れも復舊

分乃至一割五分配當の方針は變改せず既定の方針として本期を切抜ける由

●日本窒素決算 日本窒素は五日重役會にて左記決算案を査定し

二十五日總會に附議する筈

百五十四萬五千五百五十六圓當期利益金▲四十七萬四千八百八十圓

前期繰越金▲合計二百二萬九十七圓▲内三十五萬圓償却金▲十二萬圓積立金▲十萬圓重役賞與金▲九十七萬五千九十七圓後期繰越

●富士紡決算 富士瓦斯紡では

研究をも參酌して遂に此の新元史を大成したものである

民國政府は之に對し大總統令を以て支那正史集の一つに加へた程

であつて右に就き東京帝國大學文

學部教授會は委員會を設け慎重審

會に附議するが既記の如く一割二金

查を遂げて愈學位を授與する事となづたのである同氏は一流的の學者ではない

●山本健治榮轉 臺灣銀

行神戸支店長山本健治氏は今回紐

貿易家須知名

稻垣政七商店
大阪市南區久寶寺三丁目

電話船場六七八番

小山治號
大阪市西區阿波堀通二丁目

電話新九九三番

太田宗助商店
大阪市東區北久寶寺町五丁目

電話船場一八五番

H米田商店
大阪市西區江戸堀下通四丁目

電話新二五五三番

上田西號
大阪市西區北堀江通四丁目

電話船場一九五七番

清水政洋行

電話新一五四番

森重號

電話新三三八三番

香皂

(玉造橋南詰西入)

大阪市西區北堀江三番町七番地

花線洋線

辨球線

輪出

大正二十年二月十五日

日本郵船會社

日丸組回漕店

電話西一五四番

荷受場所

大阪市西區北堀江上通一丁目

專屬外航輸送業

日丸組回漕店

電話西二二七番

荷受場所

大阪市西區本町三番町

大正二十年二月十五日

日本郵船會社

日丸組回漕店

電話西一五四番

